

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-235281

(43) 公開日 平成8年(1996)9月13日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 19/00			G 0 6 F 15/28	A
A 6 3 K 3/00			A 6 3 K 3/00	
B 4 2 D 15/10	5 3 1		B 4 2 D 15/10	5 3 1 D
H 0 4 N 7/16			H 0 4 N 7/16	C

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平7-59852

(22) 出願日 平成7年(1995)2月22日

(71) 出願人 595040641

有限会社ロイヤルハウジング社
富山県富山市総曲輪3丁目9番11号

(72) 発明者 上野 照王

富山県富山市総曲輪3丁目9番11号 有限
会社ロイヤルハウジング社内

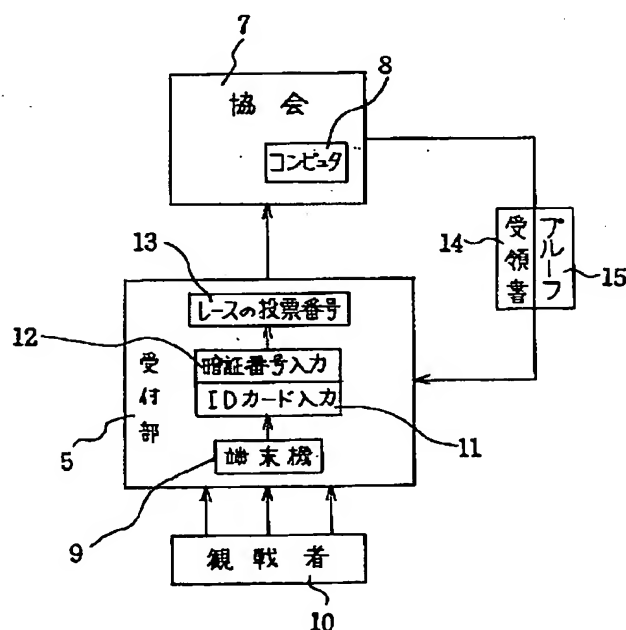
(74) 代理人 弁理士 宮田 正道

(54) 【発明の名称】 各種レースの遠隔投票システム

(57) 【要約】

【目的】 遠隔地で開かれているレースを地元で交通費をかけずに気軽に観戦しながら賭けを楽しむことができる。

【構成】 オンライン投票契約者が不特定の観戦者10に対して、各レース場16からの所定のレースを受信する受信機19、及び受信した映像を映す大型テレビ3を設ける。大型テレビ3に映るレースに対し、レース場16への投票をオンラインにより行う。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 オンライン投票契約者が不特定の観戦者に対して、各レース場から送信される所定のレースを受信する受信手段を有すると共に、受信した映像を放映する放映手段を有し、該放映手段により放映されるレースに対し、レース場への投票を依頼するオンラインによる投票依頼手段を有する、各種レースの遠隔投票システム。

【請求項 2】 レースは競馬、競輪、競艇、オートレースの何れかである請求項 1 記載の各種レースの遠隔投票システム。

【請求項 3】 オンライン投票契約者に対応したオンライン投票用口座に対し、レース主催者側が賭け金又は配当を、引き落とし又は振り込み処理を行う銀行処理手段を有する請求項 1 又は 2 記載の各種レースの遠隔投票システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は全国各遠隔地より各レースを簡単に気軽に楽しむことができる各地域とレース場を結ぶ各種レースの遠隔投票システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来における競馬、競輪、競艇、オートレース等公営レースの地方よりの遠隔投票方法は、その各々のレースについて、個人それぞれが電話投票制度に加盟し、電話機により、所定の指示に従って賭けるものであった。又各地方の遠隔地でレースを観戦する方法は、その各レース専用の放送受信契約を結んで、自宅に受信施設を設けて観戦するというものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の技術ではレースを観戦する場合はそのレース場に行くか、専用のテレビ放送の受信契約をして観戦しなければならなかった。全国的に見て、殆どの地域が各レース場からは遠くてレース場に行くには交通費及び時間もかかり気軽にレースを楽しむことができない。又テレビ観戦する場合でも専用の放送受信契約が必要となり費用及び設備等がかかる。又電話投票制度においても個々の契約が必要となると共に、専用の預金口座が必要となり、あるいは保証金担保が必要となり手続き上面倒なことが多かった。又自宅におけるテレビ観戦は家庭内に問題点が多く教育上未成年に対して問題が大であった。又、単なる電話投票の場合は聞き違い等によるミスやトラブルが度々発生していたのである。

【0004】 上記点より本発明はレース場から遠隔地であっても気軽にレースを楽しむことができ、又レース主催者側の協会とはオンラインにより確実に正確に安心して賭けることができると共に、気軽に低コストでレースを楽しむことができる各種レースの各地域よりの遠隔投

2

票システムを提供することを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため本発明は、オンライン投票契約者が不特定の観戦者に対して、各レース場から送信される所定のレースを受信する受信手段を有すると共に、受信した映像を放映する放映手段を有し、該放映手段により放映されるレースに対し、レース場への投票を依頼するオンラインによる投票依頼手段を有するものである。

【0006】

又、本発明のレースは競馬、競輪、競艇、オートレースの何れかであり、又、本発明は、オンライン投票契約者に対応したオンライン投票用口座に対し、レース主催者側が賭け金又は配当を、引き落とし又は振り込み処理を行う銀行処理手段を有するものである。

【0007】

【作用】 本発明の作用を説明すれば、オンライン投票契約者が不特定の観戦者に対して、レース場からのレースを受信して放映し、不特定者のレース場への投票をオンラインにより行うため、オンライン投票契約者以外の者がオンライン投票に参加が可能となる。そして、レースは放映手段により実況され臨場感があり、遠隔地で開催されている競馬、競輪、競艇、オートレースの各種レースや各遠隔地で開催されている同種のレースをレース場へ出掛けることなく一挙に観戦することができる。又、レース場への投票依頼をオンラインに依れば、聞き違いや送付ミスが防止され安全確実となる。

【0008】 又、レース主催者側が賭け金又は配当を、引き落とし又は振り込み処理をオンライン投票契約者のオンライン投票用口座に対して行うため、不特定者は口座を持つ必要がない。

【0009】

【実施例】 以下、本発明を図面に基づき説明する。本発明遠隔投票システムは、図 1 及び図 2 に示すように会場 1 内に多人数収容できる各観戦室コーナー 2 を設け、各観戦室コーナー 2 には複数の大型テレビ 3 とソファベンチ 4 が設置され、各大型テレビ 3 には夫々異なるレース場のレースが放映されるものである。

【0010】 又、観戦室コーナー 2 には各受付部 5 が設けられ、受付係 6 が待機している。受付部 5 及び観戦室コーナー 2 は、会場 1 内に、競馬、競輪、競艇、オートレースと夫々別コーナーとして設けられている。又、各受付部 5 にはレースの主催者である夫々の協会 7 に設置されたコンピュータ 8 と連結する端末機 9 が設置され、観戦者 10 からの要望に応じて、受付係 6 が端末機 9 に所定の ID カード 11 及び暗証番号 12 を入力し、レースの投票 13 を行い主催者である協会 7 に送信する。協会 7 側からは受領書 14 及び投票 13 の内容のブルーフ 15 が送信される。

【0011】 図 3 はレース場よりテレビ放映までのシステムを示すもので、レース場 16 にテレビカメラ 17 を

設置し、そこで行われるレース映像は送信機18を通して全国各地へ送信され、オンライン投票契約者側が受信機19で受信し、チューナ20及び交換器21で各大型テレビ3に放映する。又、当然ながらレースの運営は主催者である協会7が行い、レースの収益及び配当の管理を行う。

【0012】個人的にオンライン投票契約者の資格のない観戦者は、会場1の各観戦室コーナー2内の受付部5の受付係6に投票を依頼する。受付係6は依頼者毎に個別にオンライン投票制度に加入手続をとって加入してもらえば、全く個人的なオンライン投票契約者と同様に取り扱うことができる。そのとき観戦者が複数となるので、図4に示すように代表口座22によりオンライン投票制度に加入して、各々個別に受付係6を通してオンライン投票することができる。この場合は観戦者10を個別に区別するため、IDカード又は磁気カード23を受付係6より発行する。

【0013】レースの賭け金は図4及び図5に示すように、その場で受付係6に現金で賭け金を支払い、配当は受付部5の代表口座22を介して振り込まれる。そこで、代表口座22に配当が振り込まれた場合は、受付係6を通して、その配当はIDカード又は磁気カード23を有した観戦者10の夫々に個別に支払われる。IDカード又は磁気カード23には記憶機能を有したカードを用い、各観戦者10の賭けた内容やそれに対する配当等が正確に確認処理できる。

【0014】本発明システムは図1のような多人数収容可能な専用の会場のほか、個室カラオケボックスを設けたレストランやサウナ施設等の外、屋外に設置した屋外観戦用簡易建物等、運営主体は自由で、又放映設備や受信設備は地上波のほかにはファイバークーブル、衛星放送

を利用してもよい。

【0015】

【発明の効果】本発明に依れば、遠隔地で開催されている各種レースを地元で気軽に観戦しながら賭けることができ、交通費も不要となり経済的である。そして個人的にオンライン投票契約をしなくてもよいので、自宅に受信設備や放映設備並びにオンライン設備を設ける必要がなく経費が不要となると共に、教育上の悪影響も払拭される。又、投票依頼はオンラインを使用するため安全確実となり誰もが安心して気軽にレースを楽しむことのできる有用な発明である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明システムを実施する会場の一実施例を示す平面図である。

【図2】本発明システムの一実施例を示す説明図である。

【図3】本発明システムのレース場よりテレビ放映までのシステムを示す説明図である。

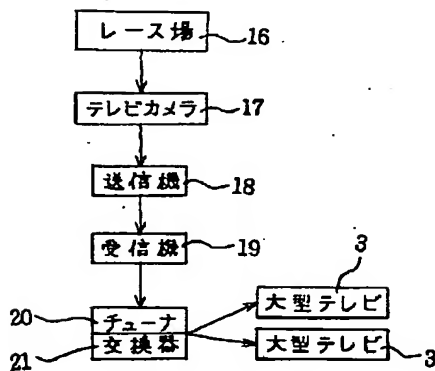
【図4】本発明システムの賭け金及び配当の流れを示す説明図である。

【図5】本発明システムの賭け金及び配当の流れを示す説明図である。

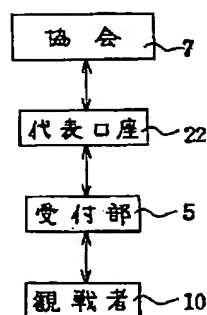
【符号の説明】

- 3 大型テレビ
- 5 受付部
- 7 協会
- 8 コンピュータ
- 9 端末機
- 10 観戦者
- 16 レース場
- 22 代表口座

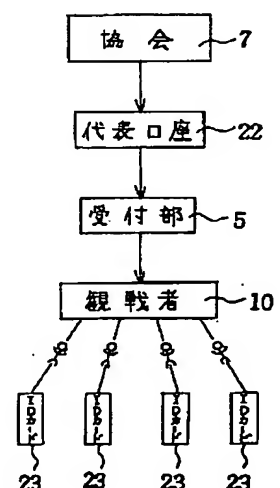
【図3】



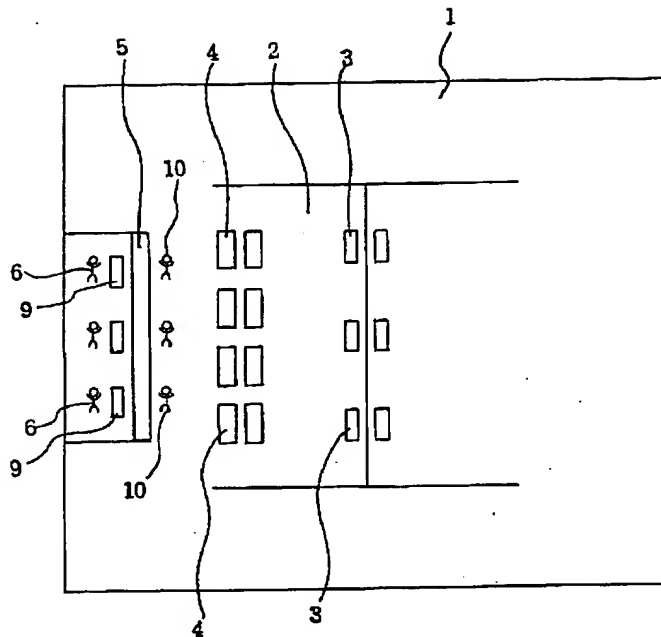
【図4】



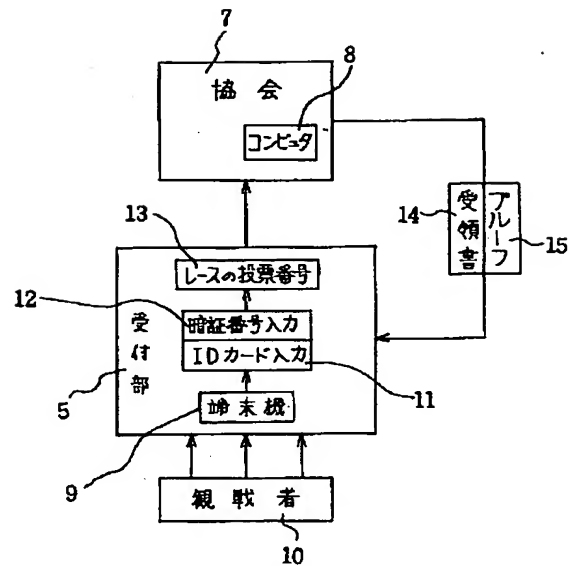
【図5】



【図 1】



【図 2】



【手続補正書】

【提出日】平成 7 年 8 月 8 日

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正内容】

【0012】個人的にオンライン投票契約者の資格のない観戦者は、会場 1 の各観戦室コーナー 2 内の受付部 5 の受付係 6 に投票を依頼する。受付係 6 は依頼者毎に個別にオンライン投票制度に加入手続をとって加入してもらえば、全く個人的なオンライン投票契約者と同様に取り扱うことができる。そのとき観戦者が複数となるので、図 4 に示すように受付口座 22 によりオンライン投票制度に加入して、各々個別に受付係 6 を通してオンライン投票することができる。この場合は観戦者 10 を個別に区別するため、IC カード又は磁気カード 23 を受付係 6 より発行する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正内容】

【0013】レースの賭け金は図 4 及び図 5 に示すように、その場で受付係 6 に現金で賭け金を払い、配当は受付部 5 の受付口座 22 に介して振り込まれる。そこで、受付口座 22 に配当が振り込まれた場合は、受付係 6 を

通して、その配当は IC カード又は磁気カード 23 を有した観戦者 10 の夫々に個別に支払われる。IC カード又は磁気カード 23 には記憶機能を有したカードを用い、各観戦者 10 の賭けた内容やそれに対する配当等が正確に確認処理できる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正内容】

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明システムを実施する会場の一実施例を示す平面図である。

【図 2】本発明システムの一実施例を示す説明図である。

【図 3】本発明システムのレース場よりテレビ放映までのシステムを示す説明図である。

【図 4】本発明システムの賭け金及び配当の流れを示す説明図である。

【図 5】本発明システムの賭け金及び配当の流れを示す説明図である。

【符号の説明】

- 3 大型テレビ
- 5 受付部
- 7 協会
- 8 コンピュータ

- 9 端末機
 10 観戦者
 16 レース場
 22 受付口座

【手続補正4】

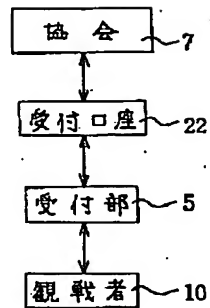
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正内容】

【図4】



【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正内容】

【図5】

